

ぶらり らいぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 222



*利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問) 戦時中に発行されていた小学生向けの新聞の原紙が見たい。

答) 雑誌 → [雑誌タイトルから探す] → 新聞 小学生 → 0件
→ 新聞 少国民 → 0件
→ 新聞 こども → 0件

昭和館図書室では、原本の提供が難しい新聞の原紙や雑誌、年鑑の一部をデジタル資料として公開しています。

[来館者システム] → [デジタル資料] → [デジタル雑誌]
→ [昭和館デジタルライブラリー 収録資料の紹介]

・少国民新聞(東日版) ・大毎小学生新聞

[昭和館デジタルライブラリートップ] → [紙面紹介] → [特集検索] → 少国民新聞に☑
→ [検索] → 閲覧したい記事タイトルを選択 → [本文を見る] をクリック → 紙面データが表示

著作権があるため掲載できません。

画面下部中央の青い矢印をクリックするとパネルが開き、拡大・縮小、ページ送りなどの操作ができます。

タイトルだけではなく、キーワードや著者名など様々な検索方法がありますので、ぜひご利用ください。

ご不明点や詳しい操作方法等は、カウンターまでお尋ねください。

※現在は複写サービスを行っておりません。ご了承ください。

操作パネル
拡大図



図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

けんせいきねんかん
憲政 記念館 って何？
けんせい
～憲政の神様とゴジラの聖地～

平成 28 (2016) 年 7 月に公開し、爆発的な人気を得た映画といえば『シン・ゴジラ』が挙げられます。劇場でご覧になった方も多くいらっしゃるでしょう。同時期には、アニメーション映画『君の名は。』もヒットしてファンによる「聖地巡礼」が話題になりました。この「聖地巡礼」とはアニメや漫画、小説などのファンが愛好する作品とゆかりのある場所を「聖地」と呼んでその場所を訪れることです。『シン・ゴジラ』にも「聖地」と呼ばれているロケ地があります。そのひとつが国会議事堂の手前にある国会前庭こっかい ぜんていです。敷地内には憲政記念館けんせいきねんかんと「憲政の神様」と呼ばれた尾崎行雄おざきゆき おの銅像があります。同記念館は、衆議院議員を務めた尾崎を顕彰する「尾崎記念会館」を前身として、現在は衆議院によって運営されています。館内では国会の仕組みや歴史を学ぶことができます。尾崎は明治 23 (1890) 年の第 1 回総選挙から戦後の昭和 27 (1952) 年の総選挙まで連続 25 回当選し、多くの人たちから支持されました。

明治時代前半の政党政治は、政府の重要な役職についた薩摩藩や長州藩出身の者によって行われていました。これに対し、尾崎は古い政治をやめ、政党が責任をもって進める政治を理想としました。のちに首相になる大養毅いぬかいつよしとともに憲法に基づく政治を守ろうと奔走し、二人は「憲政の神様」と呼ばれるようになります。

世界各地を旅して世界の情勢を見てきた尾崎は日本が進んで軍縮を行い、世界をリードすべきだと考えました。軍部の力が強まっていた 1937 (昭和 12) 年には辞世の句を懐に軍部を批判する演説を行います。戦後はこうした活動が認められ、衆議院名誉議員となりました。

やがて昭和 47 (1972) 年に憲政記念館が開館します。尾崎が主張してきた三権分立を象徴する時計塔も建てられました。時間を知らせるチャイムは、時間厳守を徹底していた尾崎の性格に由来していると言われています。塔の高さは 31.5m あり、『シン・ゴジラ』でも登場しています。映画の台詞と同様に人々の暮らしは「スクラップアンドビルド」で復興と成長を遂げてきました。

新緑が深まるこの季節に、ぜひ政治と文化の聖地を散策してみたいはいかがでしょうか。

参考文献

『尾崎行雄と議会政治特別展』289/096 開架一般

『大研究！ 日本の歴史 人物図鑑 5』281/R25/5 開架児童書

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 222

2019 年 5 月 20 日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-1